

9 将来にわたる実質的な財政負担

将来にわたる実質的な財政負担（地方債現在高＋債務負担行為額－積立金現在高）は、地方債現在高の減少及び積立金現在高の増加により、前年度より372億3,772万3千円（6.5%）減少し、5,349億5,670万円となった。

第15表 将来にわたる実質的な財政負担の状況 (単位：百万円、%)

区分	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
地方債現在高 A	667,212	679,004	△11,792	△1.7
債務負担行為額 B	91,664	97,037	△5,373	△5.5
積立金現在高 C	223,919	203,846	20,073	9.8
将来にわたる実質的な財政負担 A+B-C	534,957 (1.38)	572,194 (1.54)	△37,238	△6.5
(対標準財政規模※20年度から臨時財政対策債発行可能額を含む。)	※臨時財政対策債発行可能額を除いた場合は、1.47	※臨時財政対策債発行可能額を除いた場合は1.62		

注) 表示単位四捨五入の関係で、計が一致しない場合がある。

第11図 将来にわたる実質的な財政負担の推移

